

令和3年度事業報告

1. 概要

昨年も、一昨年に引き続き、世界中が新型コロナウイルス感染が拡大、縮小を繰り返し、年間を通じて経済社会活動に甚大な影響を及ぼした一年でした。

また、コロナ禍によりシルバー事業にも影響がありましたが、契約金額高は回復基調にあります。会員数は下げ止まらない状況でした。

こうした中、就業機会や会員確保するため会員募集のリーフレットのホームページのアップや、関係団体への配布など実施して、シルバー人材センターの役割をPRするなど積極的に推進してまいりました。

また、県連合が行う空き家管理のためドローン・刈払機・植木剪定・介護施設運転講習会に参加し、会員の受講者7名が資格を取得し後継者育成並びに会員拡大に繋げることが出来ました。

2. 活動状況

(1) 安全・適正就業対策の推進

安全すべてに優先することを念頭に一人ひとりが自覚し、安全・適正就業に徹し事故防止に努めました。

- ・安全対策基本計画及び安全就業事業計画を策定し、安全対策の推進と安全意識普及啓発を行なった。
- ・安全・適正就業のパトロール隊による就業場所の巡回及び点検を実施した。
- ・安全委員会で事故発生要因分析し再発防止に努めた。
- ・毎月「安全だより」を発刊し情報提供等を通じ、意識の高揚を図った。
- ・リーダーが中心になり、作業確認や安全就業等の始業前打合せを徹底した。

(2) 公正・適正就業の推進

シルバー事業の基本である、臨時的かつ短期的就業また、軽易な業務を再確認し適正ガイドラインに従って、これまで契約してきた委任、委託や請負の一部を派遣に切替えた。併せて、ローテーション就業も推進した。

(3) 普及啓発活動

シルバー人材センター事業の基本理念と内容について、地域住民や企業の方々に理解と協力を得るため各事業所管内（大月・都留・上野原）各々あらゆる機会を利用して普及啓発活動を行ないました。

- ・普及啓発用チラシ、パンフレットによるPR活動を行った。
- ・ホームページによるネット社会に対応したPR活動した。